

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 15日

中施策事業名	スポーツ補助金事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	一緒に運動を楽しむ仲間を増やし、リーダーを育成する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	気軽に運動ができるように、仲間に囲まれ、指導者にも恵まれている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・選手派遣補助事業（体育協会・レク協会等） ・スポーツ協会（16団体）事務及び調整 ・レクリエーション協会（4団体）事務及び調整 ・スポーツクラブ事務局 ・ふれあい広場設置補助事業（2団体）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
県大会以上への出場者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	27	27	27	27	27	27
	実績値	10	21				
単位	人						
スポーツクラブ登録者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	200	200	200	200	200	200
	実績値	136	244				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				4, 901千円	5, 066千円	
	a 事業費合計			4, 901千円	5, 066千円	6, 856千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				4, 901千円	5, 066千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				71 円	74 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A スポーツクラブ数が増加し、募集対象の年齢枠を広げたことにより参加者が増え、クラブ全体の活性化が図れた。補助事業を積極的に活用し、市民がスポーツを気軽に楽しむことができるよう、幅広く周知していく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各団体の魅力を様々な機会を通して周知し、登録者数の増加を目指す。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各助成団体相互の連携を支援しながら、市民が様々なスポーツを選択し、参加できる仕組みを作っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 2月 6日

中施策事業名	スポーツ振興事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	誰もが楽しみながら運動に親しみ、健康的な生活を送っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・豊明市スポーツ表彰事務 ・市民体育大会総合開会式及び各団体競技の調整 ・スポーツ推進計画審議会（計画進行管理） ・市民歩け歩け運動 ・スポーツ講演会 ・市民レクリエーションスポーツ教室 ・ラジオ体操会		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
スポーツ賞表彰対象者	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	68	68	68	68	68	68
	実績値	14	27				
単位	人						
市民体育大会参加者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	3,750	3,750	3,750	3,750	3,750	3,750
	実績値	1,500	1,274				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				4, 096千円	4, 529千円	
人 件 費	a 事業費合計			4, 096千円	4, 529千円	7, 827千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				4, 096千円	4, 529千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				60 円	66 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 市民大会の開催、施設の開放、スポーツ教室等の実施を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や縮小となった事業が多く、目標の達成はできなかった。まちづくり指標において「スポーツをするために必要な情報が得られている市民の割合」及び「スポーツを教えてくれる人がいると思う市民の割合」の数値が年々減少しており、スポーツイベントや教室、スポーツ施設に関する情報発信に改善が必要である。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設開放や各種スポーツ教室について、SNSを有効活用する等周知方法を工夫し、参加者を増やすよう努める。また、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しむことができるよう、関係部署と連携して事業を進めていく。また、第2次スポーツ推進計画を策定し、指標としていく。市制50周年マラソン事業の開催に向け、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら開催方法、開催時期等の検討を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各事業を再評価しながら誰でも気軽にスポーツに親しめるよう、関係部署と連携しながら事業の見直しや充実を図っていく。また、市制50周年を記念して、マラソン事業を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 30日

中施策事業名	体育施設維持管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	健康的な生活を送るため、快適な環境で運動に親しんでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・用地借地契約 ・体育施設利用調査、調整事務（優先団体使用・グラウンド・テニスコート） ・行政財産目的外使用料算定、許可 ・指定管理（委員会） ・備品台帳の整理		

■評価指標

中 ・ 長 期 成 果 に 対 す る 目 標 達 成 状 況							
福祉体育館及び体育施設等の利用者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	217,400	217,400	217,400	217,400	217,400	217,400
	実績値	156,201	199,333				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				79, 101千円	85, 335千円	
	a 事業費合計			79, 101千円	85, 335千円	78, 500千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				79, 101千円	85, 335千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 149 円	1, 240 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新型コロナウイルス感染症対策のための時短営業や、事業の休止、利用の自粛があった。コストは指定管理料が大部分を占めており、おおむね妥当と判断している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設・設備が改修され、利用者の利便性の向上が期待できる。利用者の増加を目指し、市民ニーズ、満足度について研究していく。また、指定管理者について、サウンディング調査を実施しながら老人福祉センター等と共同で業者選定することについて検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者のモニタリングを活用し、事業の分析、見直し等を行い、市民にとって魅力ある施設となるよう工夫していく。サウンディング調査の結果を踏まえ、より効果的な仕様を検討し、公募を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	公民館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	それぞれの教養を高めながら活発に交流している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 公民館サークル ・ 公民館まつり ・ 公民館の運営及び運営審議会、公民館連合会 ・ 公民館講座		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
中央・南部公民館 利用件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
	実績値	1,010	2,023				
単位	件						
南部公民館利用者 数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	6,000	30,000	30,000	30,000
	実績値	0	0				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				18,396千円	24,398千円	
	a 事業費合計			18,396千円	24,398千円	25,258千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				632千円
③ コスト (①－②)				17,764千円	23,657千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				258 円	344 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価「B」 中央公民館が新型コロナワクチン接種事務室となり、施設の一部が一般貸出できなかった。また、部屋の収容人数も制限したため、目標値が達成できなかった。従来からの利用団体が多く、高齢化も進んでいるため、若い世代の利用増加を目指し施設機能等の充実を図っていく必要がある。また令和4年度南部公民館のリニューアルが検討されているため、パブリックコメントを実施した。パブリックコメントに寄せられた意見も参考にしながら南部公民館のリニューアルを行っていきたいと考えている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設運営に関して、特に効率性、利便性を考慮し、多機能を有した公民館を目指していく。また、公民館講座における市民大学ひまわりとの協力体制の確立を検討し、市民(特に若い世代)の利用を増やしていくことを務める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和4年度以降に南部公民館のリニューアル工事が実施されるので、今のライフスタイルに併せた若い人にとって利用しやすい施設となるよう、運用方法を考える必要がある。リニューアル後は南部公民館の広報活動としてSNSでの発信を重点的に行い、利用者アンケートを実施予定である。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 30日

中施策事業名	文化広場管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な人が、健康で文化的素養を相互に高めている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 勅使会館の管理、運営及び支払いに関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
勅使会館の利用人数（和室）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
	実績値	2,275	2,079				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				4,613千円	5,013千円	
	a 事業費合計			4,613千円	5,013千円	5,131千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				44千円	43千円	42千円
③ コスト (①－②)				4,569千円	4,970千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				66 円	72 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価「B」 新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、デイキャンプ場の閉鎖、宿泊ができないなど一部利用に制限を設けたため、目標値に達成できなかった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き施設の周知に努め、利用予定の少ない時期に講座を開催する等、利用者の増加を図る。また、指定管理者について、サウンディング調査を実施しながら業者選定することについて検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	長期的な展望を基に、安定的な利用者数を確保する。 サウンディング調査の結果を踏まえ、より効果的な仕様を検討し、公募を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 16日

中施策事業名	青少年対策事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる		
④中施策事業の対象	市内小中学生及び地域の人たち		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、それぞれの地域で、地域の人たちに支えられ、生き生きと暮らしている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・青少年健全育成地区連絡協議会及び家庭教育推進協議会・青少年健全育成推進員・子ども情報誌の発行に関すること・成人式に関すること・家庭教育学級に関すること・民謡講習会及び子どもフェスティバル・文科系ジュニアクラブ（CJC）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
放課後子ども教室 登録児童数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	320	320	0	0	0	0
	実績値	363	438				
単位	人						
親子ふれあい事業 参加数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	100	100	100	100
	実績値	0	31				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)				61,389千円	55,922千円	
	a 事業費合計			61,389千円	55,922千円	5,566千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等（収入）				13,849千円	14,126千円	0千円
③ コスト（①－②）				47,540千円	41,796千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				691 円	607 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価「A」 放課後子ども教室については、館小学校以外の全ての学校で実施し、開校日数を増やす等事業内容の充実を図った。それにより登録児童数が増えたが、開校に伴い事業費が増加した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	放課後子ども教室については、すべての学校で学校内での実施ができた。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	放課後子ども教室が学校教育課へ移管されたため、あらたに親子ふれあい事業について目標を設定した。母親だけでなく、父親や祖父母も参加しやすいような親子講座を重点的に設けていきたいと考えている。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 30日

中施策事業名	社会教育活動事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域活動を活発にする		
④中施策事業の対象	市内小中学生		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、地域の人たちに支えられ、活発に活動している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 人権教育 ・ 社会教育委員会 ・ 情報誌の発行ＨＰの運営 ・ 市Ｐ連 ・ 女性の会補助金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
文科系ジュニアクラブ数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	7	7	7	7	7	7
	実績値	5	5				
単位	クラブ数						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)				5,203千円	5,117千円	
	a 事業費合計			5,203千円	5,117千円	5,323千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				5,203千円	5,117千円	
市民一人あたりコスト （③÷市の人口（評価対象年度末時点））				76 円	74 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価「B」 クラブ数の増加はなかった。子どもが減少する中、各クラブの維持が図れ、継続的な活動が達成された。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	クラブ員の増加を目指し積極的な広報活動を行っていく。また、関連団体との連携を構築、また市の主催イベントへの参加等、クラブの更なる活動の場を提供できるよう努めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和4年度からクラブ数が増えるため、さらなるクラブ員数の増加を目指し、広報、ホームページ等による周知を充実させる。また、小中学校を通じて、クラブの新規加入も促していく。さらに、教員の働き方改革による部活動への影響を考慮し、その受け皿としての役割を担えるよう支援していく。また、市制50周年を記念して合唱事業を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	文化会館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	文化的素養を育み、文化、芸術を発信している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・指定管理 ・会館の財産等 ・公立文化施設協会（施設損害賠償保険含まず）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
利用者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	137,500	137,500	137,500	137,500	151,200	151,200
	実績値	56,379	104,521				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				99,302千円	147,060千円	
	a 事業費合計			99,302千円	147,060千円	107,601千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				99,302千円	147,060千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1,443 円	2,137 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C 新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用は減少しているが、指定管理料で行う事業が大部分であり、モニタリングを通しておおむね妥当と判断している。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	モニタリングを利用して事業の分析、見直しを行う。また、指定管理者の更新に向けてサウンディングを行い、施設の魅力向上に向けた事業を行えるよう検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	他市町の情報収集を行い、新規事業の立ち上げ等、市民にとって魅力ある施設となるよう工夫していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	文化財保護事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく認識し、愛着をもって継承している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ナガバノイシモチソウ ・大狭間湿地 ・市文化財の保護、保存及び補助金 ・市文化財の保護、保存及び補助金の申請及び交付 ・文化財保護委員会 ・文化財の維持管理 ・埋蔵文化財の調査、実測及び台帳への登録		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
一般公開見学者数 (ナガバノイシモチソウ)	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	550	560	570	580	590	600
	実績値	611	526				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				8,217千円	9,965千円	
	a 事業費合計			8,217千円	9,965千円	9,200千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				8,217千円	9,965千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				119 円	145 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 新型コロナウイルス感染症対策のため、ナガバノイシモチソウ一般公開が5日間のうち3日間となった影響もあり、目標値の達成はできなかった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室のリニューアルオープンに伴い、一般公開時以外にもナガバノイシモチソウや大狭間湿地について知ることができるような工夫を行う。歴史民俗資料室の展示やワークショップ等を通じて市民が歴史やとよあけの自然に親しむ機会を増やしていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室の展示やワークショップ等を工夫していくことで、幅広い年代の方がとよあけの歴史やとよあけの自然に親しみ、誇りを持てるようにする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	市史編さん事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく理解している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・市史の編さん及び編さん委員会 ・市史新規資料の受け入れ ・広報「とよあけの自然」、「市史だより」 ・愛知県市史整備市町村協議会 ・歴史民族資料の収集及び資料室 ・歴史民族資料調査研究会 ・史跡ガイド		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市史販売数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	9	14				
単位	冊						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				1,787千円	16,099千円	
	a 事業費合計			1,787千円	16,099千円	3,195千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				1,787千円	16,099千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				26 円	234 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 歴史民俗資料室のリニューアルオープンに向けて、資料の集約や展示室の設計、民具の移設等を進め、市民がとよあけの歴史に親しむ場を提供する準備を進めた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室において、市民が歴史に親しむことができるような展示やワークショップを行っていく。特に、国指定史跡である桶狭間古戦場伝説地に関連したワークショップや講座を行う。 歴史民俗資料室のリニューアルオープンに伴い集約した資料の整理を進め、民俗資料を活用していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	民俗資料を活用したワークショップや講座を行い、市民がとよあけの歴史に親しみ、誇りを持てるような機会を増やしていく。また、展示パネルを増設し、資料室の魅力をより高められるよう努める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 16日

中施策事業名	陶芸の館管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	かつての陶芸産地であった歴史的経緯を理解し、現在も文化を継承するとともに発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・陶芸教室 ・陶芸の館の管理、運営及び支払い		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
陶芸の館利用者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
	実績値	770	958				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				1,346千円	1,639千円	
	a 事業費合計			1,346千円	1,639千円	2,229千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				117千円
③ コスト (①－②)				1,229千円	1,480千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				18 円	22 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価「B」 特殊な施設であるため利用者が限られてしまう点から、大幅な増加は見込めず、さらにはコロナウイルス感染拡大防止対策により部屋を利用できる人数に制限を設けているので、利用者数は増えなかった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	修繕箇所優先順位をつけ、計画的に改修していく。また、市民大学「ひまわり」に陶芸教室を委託し、内容を見直す。学校を通じて教室の広報活動を行い、子どもにも親しんでもらえるような幅広い世代の利用を実現していく。市制50周年の陶芸教室も開催されるので、陶芸について親しんでもらえるようなきっかけづくりにする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市民大学「ひまわり」に陶芸教室を委託したため、今後は陶芸教室の内容を見直す。また、愛知県陶磁美術館の学芸課から講師の派遣も依頼し、陶芸の講師及び講座内容の充実を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 7月 22日

中施策事業名	市民文化育成事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住・在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	世代や分野を問わず、文化的な素養を高め、発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・文化協会等の団体育成及び指導		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市民文化講座等の 参加者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1,750	1,750	1,800	1,800	1,850	1,900
	実績値	1,183	1,303				
単位	人						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				802千円	972千円	
人 件 費	a 事業費合計			802千円	972千円	1,172千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				802千円	972千円	
市民一人あたりコスト (③÷市の人口(評価対象年度末時点))				12 円	14 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数は増えなかった。評価指標については受託事業であるため、指定管理者との協議が必要である。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	参加団体の増加を目指し、周知方法等を工夫していく。また、指定管理者と協議し、貸館以外のスペースの有効活用や、アンケート等の分析結果を反映し、参加者の増加を図る新しい運営方法を取り入れながら事業の拡大を検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市内の文化活動団体の活動をより多くの市民に周知する工夫をし、また参加団体を増やすよう働きかけて参加者を増やしていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等